

所属機関長殿

2020年度 研究助成のご案内について

拝啓 時下ますますご隆盛のこととお慶び申し上げます。

平素は、本財団の活動に格別なるご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

ご承知の如く本財団は、研究助成事業と顕彰事業を2本の柱とする事業を展開しております。

さて、2020年度の研究助成事業として「臨床検査、衛生検査及びこれらに係る基礎医学に関する調査並びに研究」の領域でより優れた学術研究・業績テーマに対して研究助成を行います。

早速ながら、本年度の研究助成金申請書を作成しましたのでお届けいたします。

ご多忙中のところ、恐縮ではございますが貴機関の関係者にご伝達の上、

2020年5月31日(日、当日消印有効)までに、申請者ご自身から本財団宛申請くださいますようお願いの程、ご案内かたがたお願い申し上げます。

敬具

2020年3月吉日

公益財団法人 黒住医学研究振興財団

代表理事・理事長 渡邊 治雄



※公益財団法人 黒住医学研究振興財団の事務局は
東京都台東区台東 4-19-9 山口ビル7
TEL 03-5846-3504 FAX 03-5846-3514
URL <http://www.kmf.or.jp> E-mail : info@kmf.or.jp

公益財団法人 黒住医学研究振興財団
2020年度 第28回 研究助成事業募集要項

1. 研究助成事業の対象

研究助成は、臨床検査、衛生検査及びこれらに係る基礎医学に関する調査並びに研究で、より優れた学術研究・業績を研究助成事業の対象とし、若手の育成（原則として50歳以下）を主眼としています。（財団ホームページ「よくあるご質問」をご参照ください。）

2. 応募資格

医学関連の大学及びその他の教育機関、研究所並びに医療機関等において、本研究助成事業の対象領域において調査、研究に積極的に取り組もうとする個人とします。

ただし、大学教授及び国公立私立研究機関の部長並びにこれらに準ずる職位の方は除きます。

3. 対象領域

- | | |
|--------------------|-------------|
| ① 臨床化学 | ② 分子生物学（医学） |
| ③ 臨床微生物学 | ④ 臨床免疫学 |
| ⑤ 検査血液学 | ⑥ 人体病理学 |
| ⑦ 疫学 ^{#1} | ⑧ 一般・生理学 |

の8つの領域とします。

注1：臨床検査・衛生検査についての集団(mass)を対象に扱う研究

4. 募集期間

2020年3月16日（月）から2020年5月31日（日）までとします。

なお、郵送の場合は当日の消印まで有効です。

5. 研究助成件数及び研究助成額

研究助成額は1件100万円を限度とし、15件以上とします。

研究期間は、原則として1年間としますが、終了しない場合は中間報告として研究・会計報告書を提出していただきます。

6. 応募方法

所定の申請書に必要事項を原則としてワープロソフトにより黒インクで記入し、本財団研究助成金選考委員会宛に送付してください。

なお、提出数は「原本と複写2部」の合計3部を送付してください。

☆財団ホームページ募集要項からWord 2013ファイルで申請書をダウンロードすることができます。

7. 審査方法及び通知

本財団の委嘱する審査委員が8つの対象領域ごとに審査したあと、選考委員会で選考審査を行い、理事会で決定します。その結果は、本財団ホームページに掲載し、受贈者にその旨を通知いたします。

8. 研究助成金の贈呈

2020年10月30日（金）の小島三郎記念文化賞贈呈式にあわせて、研究助成金を贈呈します。

9. 受贈者の研究助成金受領後の義務

本財団の研究助成金募集要項により手続きを行っていただきますが、本財団の年報発行のため、次の①、②、④の事項を研究助成金受領後(贈呈式後)、1年以内に本財団事務局へ提出していただきます。

- ① 研究結果については2,000字以内の報告書の提出
- ② 会計報告の提出
- ③ 研究結果を発表する口頭発表(記録あり)、論文発表等には本財団の研究助成を受けた旨の附記(英字表記の場合は、「KUROZUMI MEDICAL FOUNDATION」)
- ④ 継続研究の場合は中間報告書の提出

※「研究報告書」の本財団事務局への提出が確認できなかった場合は、当該研究課題について贈呈した研究助成金の贈呈決定の取り消し及び返還を求め、所属する研究機関の名称等の情報を公表する場合があります。

10. 申請書類の提出先

〒110-8408

東京都台東区台東4-19-9 山口ビル7

公益財団法人 黒住医学研究振興財団 研究助成金選考委員会 宛

(問い合わせ先)

公益財団法人 黒住医学研究振興財団 事務局

TEL 03-5846-3504

FAX 03-5846-3514

E-mail info@kmf.or.jp

附記 ○必ず公益財団法人黒住医学研究振興財団のホームページから申請書をダウンロードしてご使用ください。（年度毎に改訂されますのでご注意ください。）

URL <http://www.kmf.or.jp/>

○所属機関長は大学長、研究所長、病院長及びそれに相当する職域の長であること。

○応募の書類は一切返却いたしません。

第 27 回研究助成金贈呈者の研究課題一覧 (2019 年度)

参考

氏 名	所 属	研 究 課 題	選考対象
あいざわ ゆうた 相澤 悠太	新潟大学大学院医歯学総合 研究科 小児科学分野 医員 医学博士	早期乳児のウイルス感染症原因微生物検出 PCR セットの確立	臨床微生物学
あおきこうたろう 青木弘太郎	東邦大学医学部 微生物・感染症学講座 助教 医学博士	微生物検査室での運用を目指した細菌全ゲノム 解析による薬剤感受性予測に資する研究	臨床微生物学
うすく ひろき 宇宿 弘輝	熊本大学病院 中央検査部 助教 医学博士	熊本県における心血管エコー図検査標準化の 試み	一般・生理学
きくち りょうすけ 菊地 良介	名古屋大学医学部附属病院 医療技術部臨床検査部門 主任臨床検査技師 医学博士	呼吸器悪性腫瘍における血管新生阻害治療の 効果予測法の確立	臨床化学
くろさき ようへい 黒崎 陽平	長崎大学 熱帯医学研究所 助教 薬学博士	ナノポアシーケンサーによるアウトブレイクウイ ルスのゲノム監視システムの開発	臨床微生物学
ごとう やすひろ 後藤 恭宏	九州大学大学院医学研究院 応用幹細胞医科学部門 助教 農学博士	糞便メタゲノミクスを活用した新興感染症菌 <i>Helicobacter cinaedi</i> の疫学的・細菌学的研究	臨床微生物学
さかぐち よしひこ 阪口 義彦	北里大学医学部 微生物学 講師 医学博士	バクテリオファージの尾部吸着分子を利用したデ ィフィシル菌株の新規迅速検出法の開発	臨床微生物学
しばた けんすけ 柴田 健輔	山口大学大学院医学系研究科 ゲノム・機能分子解析学講座 講師 医学博士	IgG4 関連疾患に対する新規バイオマーカーの 開発	臨床免疫学
たいら まさかつ 平良 雅克	千葉県衛生研究所 ウイルス・昆虫医科学研究室 研究員 獣医学博士	千葉県で 2008 年から 2018 年に日本紅斑熱、つ つが虫病陰性と診断された患者における、ダニ媒 介性感染症に対する血清疫学および分子疫学調 査とその診断意義に関する研究	疫学
とよなが やすひろ 豊永 安洋	帝京大学ちば総合医療セン ター 病院病理部 臨床検査技師	尿検体を用いた尿路上皮癌に高頻度な遺伝子 変異を検出し得る変異特異的 PCR 法の確立	人体病理学
にしかわ まさこ 西川 真子	東京大学医学部附属病院 検査部 助教 医学博士	血小板受容体の検査血液学への導入	検査血液学
ふじわら とおる 藤原 亨	東北大学病院 検査部 副部長・講師 医学博士	5-アミノレブリン酸を用いた多発性骨髄腫微小残 存病変の光線力学診断	検査血液学
ほしな ときお 保科 斉生	東京慈恵会医科大学 感染制御科 助教	トランスジェニックキゾプラズマ虫体を用いた新 規血清学的診断法の開発	臨床免疫学
まつむら やすふみ 松村 康史	京都大学医学部附属病院 検査部・感染制御部 講師 医学博士	ニューモシスチス・イロベチイに対する菌数定 量・薬剤耐性検出全自動遺伝子検査法の開発	臨床微生物学
むたい ひでき 務台 英樹	東京医療センター臨床研究 センター 聴覚平衡覚研究部 研究員 獣医学博士	難聴遺伝子に対するコピー数変化およびミコン ドリア遺伝子変異検出を含む包括的検査法の開 発	分子生物学
よしの ゆうき 吉野 優樹	東北大学 加齢医学研究所 腫瘍生物学分野 助教 医学博士	DNA 損傷修復活性の新規測定法を用いた遺伝 性乳がんの非侵襲的診断法の開発	分子生物学

総申請者 199 名
研究助成金総額 1,520 万円(16 名)

2020年度 第56回
「小島三郎記念文化賞」推薦依頼

拝啓 春暖の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は、本財団の活動に格別なるご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

本事業は、元国立予防衛生研究所長故小島三郎博士のご遺徳を永く記念すべく、1965年（昭和40年）4月に創設され、その記念事業の一つとして「小島三郎記念文化賞」が設定されております。

本賞は、故小島三郎博士が広く関係をもたれていた病原微生物学、感染症学、公衆衛生学その他これらに関連した領域において学問的に顕著な業績をあげた方に贈呈するものであります。

つきましては、貴殿より次頁の審査規定をご参照の上、本賞受賞候補者のご推薦を賜りたくお願い申し上げます。

敬具

2020年3月吉日

公益財団法人 黒住医学研究振興財団

代表理事・理事長 渡邊 治雄



※公益財団法人 黒住医学研究振興財団の事務局は
東京都台東区台東4-19-9 山口ビル7
TEL 03-5846-3504 FAX 03-5846-3514
URL <http://www.kmf.or.jp>
E-mail : info@kmf.or.jp

本賞の第19回から第55回までの受賞者は次の方々です。

(第1回からの詳細は財団ホームページを参照願います。)

2020年度 第56回 「小島三郎記念文化賞」 審査規定

1. 本賞は、「小島三郎記念文化賞」と称する。
2. 本賞は、病原微生物学、感染症学、公衆衛生学その他これらに関連した領域において学問的に顕著な業績で、しかも我が国の文化に貢献したと思われる研究成果に対して贈るものである。
3. 審査の対象は、原則として最近の業績であり、かつ、評価の定まったものとする。
4. 本賞受賞候補者の審査は、本財団が委嘱した選考委員がこれを行う。
5. 本賞受賞候補者の推薦は、本財団が関係領域の学識経験者に委嘱するのを原則とする。
6. 本賞の審査は、毎年1回行う。

附則

- (1) 推薦用紙は、本財団ホームページよりダウンロードしてご使用ください。(年度毎に改訂されますのでご注意ください。)
- (2) 推薦用紙とともに、論文別刷などの資料を同封してください。
- (3) 締切りは 2020年5月31日(日) 必着とします。
- (4) 送付先

(切り取ってご使用ください)

〒110-8408

東京都台東区台東 4-19-9 山口ビル7

栄研化学(株)内

公益財団法人 黒住医学研究振興財団宛

年 度	氏 名	所 属 機 関
第19回 1983年(昭58)11月	22 中江 太治 博士	東海大学医学部総合医学研究所 教授
第20回 1984年(昭59)11月	23.本間 守男 博士 24.中嶋 宏 博士	神戸大学医学部微生物学 教授 WHO西太平洋地域 事務局長
第21回 1985年(昭60)11月	25.竹田 美文 博士	東京大学医科学研究所 教授
第22回 1986年(昭61)11月	26.西岡久壽彌博士	北里研究所肝臓病研究センター顧問
第23回 1987年(昭62)11月	27.須藤 恒久 博士	秋田大学医学部微生物学 教授
第24回 1988年(昭63)10月	28.山西 弘一 博士	大阪大学微生物病研究所 助教授
第25回 1989年(平元)11月	29 五十嵐 章 博士	長崎大学熱帯医学研究所 教授
第26回 1990年(平2)11月	30.斎藤 和久 博士	国際医学情報センター 理事長
第27回 1991年(平3)11月	31.倉田 毅 博士	国立予防衛生研究所 病理部長
第28回 1992年(平4)11月	32.日野 茂男 博士	鳥取大学医学部ウイルス学 教授
第29回 1993年(平5)11月	33.小澤 敦 博士	東海大学医学部 特任教授
第30回 1994年(平6)11月	34.速水 正憲 博士	京都大学ウイルス研究所 教授
第31回 1995年(平7)11月	35.佐藤 勇治 博士 36.木村三生夫博士	前・国立予防衛生研究所細菌部 室長 東海大学名誉教授
第32回 1996年(平8)11月	37.宮村 達男 博士	国立予防衛生研究所ウイルス第2部長
第33回 1997年(平9)11月	38.相川 正道 博士 39.本田 武司 博士	東海大学総合医学研究所 教授 大阪大学微生物病研究所 教授
第34回 1998年(平10)10月	40.中村 信一 博士	金沢大学医学部医学科(微生物学) 教授
第35回 1999年(平11)10月	41.光山 正雄 博士	京都大学大学院医学研究科 教授
第36回 2000年(平12)10月	42.内山 竹彦 博士	東京女子医科大学微生物学免疫学 教授
第37回 2001年(平13)10月	43.尾身 茂 博士	WHO 西太平洋地域 事務局長
第38回 2002年(平14)10月	44.品川 森一 博士	帯広畜産大学公衆衛生学 教授
第39回 2003年(平15)10月	45.橋爪 壮 博士	(財)日本ポリオ研究所 理事長
第40回 2004年(平16)10月	46.山口 恵三 博士	東邦大学医学部微生物学講座 教授
第41回 2005年(平17)10月	47.渡邊 治雄 博士	国立感染症研究所 副所長
第42回 2006年(平18)10月	48.西山 幸廣 博士	名古屋大学大学院医学系研究科微生物・免疫学講座ウイルス学分野 教授
第43回 2007年(平19)10月	49.馬原 文彦博士	馬原医院 院長

年 度	氏 名 ・ 所 属 機 関 ・ 業 績 題 目
第 4 4 回 2008 年 (平 20) 10 月	50.岡本 宏明 博士 自治医科大学感染・免疫学講座 ウイルス学部門 教授 (業績の題目) 肝炎ウイルスの分子医学的研究とその応用
第 4 5 回 2009 年 (平 21) 10 月	51.伊藤 亮 博士 旭川医科大学医学部寄生虫学講座 教授 (業績の題目) エキノコックス症に関する免疫診断法の開発と流行地での応用
第 4 6 回 2010 年 (平 22) 10 月	52.藤田 尚志 博士 京都大学 ウイルス研究所 教授 (業績の題目) 細胞質ウイルスセンサーRIG - I ファミリーの発見
第 4 7 回 2011 年 (平 23) 10 月	53.吉開 泰信 博士 九州大学生体防御医学研究所附属感染ネットワーク研究センターセンター長 教授 (業績の題目) γ δ 型 T 細胞の発見と感染防御機構での役割の解明
第 4 8 回 2012 年 (平 24) 10 月	54.荒川 宜親 博士 名古屋大学大学院医学系研究科 分子病原細菌学/耐性菌制御学分野 教授 (業績の題目) 病原細菌が獲得した新規薬剤耐性機構 (16S リボソーム RNA メチラーゼ) に関する体系的研究
第 4 9 回 2013 年 (平 25) 10 月	55.江崎 孝行 博士 岐阜大学大学院医学系研究科 再生分子統御学講座 病原体制御学分野 教授 (業績の題目) 病原細菌の分類手法の開発とそれを利用した微生物の社会基盤の確立
第 5 0 回 2014 年 (平 26) 10 月	56.中谷比呂樹博士 世界保健機関 (WHO) 本部 事務局長補 医学博士 (業績の題目) 不健康と貧困の悪循環を断つための地球規模での公衆衛生学的アプローチ
第 5 1 回 2015 年 (平 27) 10 月	57.瀬谷 司 博士 北海道大学大学院医学研究科免疫学分野 教授 (業績の題目) 自然免疫の自己・非自己識別機構に関する研究
第 5 2 回 2016 年 (平 28) 10 月	58.山崎 晶 博士 九州大学生体防御医学研究所感染ネットワーク研究センター免疫制御学分野 教授 (業績の題目) 結核菌受容体群の発見と宿主免疫賦活化機構の解明
第 5 3 回 2017 年 (平 29) 10 月	59.森 康子 博士 神戸大学大学院医学研究科附属感染症センター臨床ウイルス学分野 教授 (業績の題目) ヒトヘルペスウイルス 6B 受容体の発見とウイルス侵入機構の解明
第 5 4 回 2018 年 (平 30) 10 月	60.川口 寧 博士 東京大学医科学研究所 ウイルス病態制御分野 副所長 / 教授 (業績の題目) 単純ヘルペスウイルスの増殖・病態発現機構の解明
第 5 5 回 2019 年 (令 1) 10 月	61.竹田 誠 博士 国立感染症研究所ウイルス第三部 部長 (業績の題目) 急性呼吸器感染症ウイルスの病原性発現ならびに制御に関する研究